

形名	LEEB-20901W	公共施設	LBF3MP/RP-2-13 LBF3MP/RP-2-06
	LEEB-40901W	公共施設	LBF3MP/RP-4-26 LBF3MP/RP-4-20

LEEB-20901W (20タイプ)	適合LEDバー	
	防湿・防雨形	
定格性能周囲温度	5℃～35℃ *LEDバーの温度範囲と異なります。	
明るさタイプ	5000K(昼白色)	3000K(電球色)
1,600lmタイプ	LEEM-20164N-WP-LS9	LEEM-20164L-WP-LS9
800lmタイプ	LEEM-20084N-WP-LS9	LEEM-20084L-WP-LS9

LEEB-40901W (40タイプ)	適合LEDバー	
	防湿・防雨形	
定格性能周囲温度	5℃～35℃ *LEDバーの温度範囲と異なります。	
明るさタイプ	5000K(昼白色)	3000K(電球色)
4,000lmタイプ	LEEM-40404N-WP-LS9	———
3,200lmタイプ	LEEM-40324N-WP-LS9	———

このたびは東芝LED照明器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■安全上のご注意

照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。照明器具への電源線が損傷を受けた時は、必ず電気工事店に依頼してください。電気工事の有資格者による交換が必要になります。

・お客様は読みになったあとも必ず保管してください。

工事店様へ 施工上のご注意

	警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	禁止 - 器具に表示された電源電圧（定格電圧±6%以内）以外で使用しない。（故障、火災の原因） - 器具を改造したり、部品を変更しない。（落下・感電・火災等の原因） - 器具の取り付けは、凸凹面に取り付けけないでください。
	必ず実施 5℃～35℃の範囲で使用してください。（火災の原因） - アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。 - 器具の取り付けは、質量、風圧や積雪などの外力に耐える所に本体表示並びに取扱説明書に従って行う。（器具落下の原因） - 電源線接続は、絶縁・防水処理（融着テーピング等）を確実に行ってください。（発熱、火災の原因） - 器具の取り付けの際は手袋を着用すること。（けがの原因）

	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。
	禁止 - 器具は建物の屋側でご使用になれます。直射日光が当たる場合、施工時の一時的な点灯以外は日中点灯しないでください。変色・変形・火災・故障の原因となります。 - 振動や衝撃のある場所、粉塵の発生する場所（工場やトンネル内にある駅ホーム等）、腐食性ガス・塩素ガス・硫黄成分などの発生する場所、オイルミストが発生する環境下などには使用しないでください。 - 風速40m/sを超える風の吹く可能性がある場所では使用できません。器具落下の原因となります。 - 器具を密閉した空間に使用しないでください。早期故障の原因となります。

お客様へ 使用上のご注意

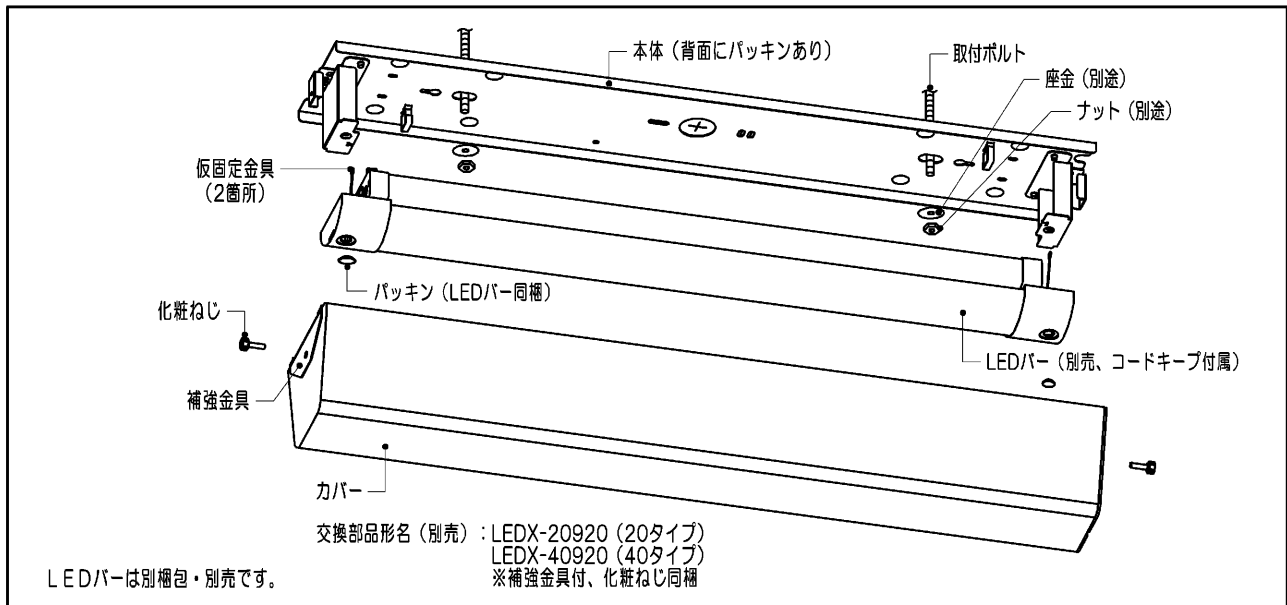
	警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	禁止 - 器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけたりしない（火災の原因） - 器具のすきまなどに針金などを差し込まない。（けがや感電・火災などの原因） - 器具に1m以上の雪が積もった状態にならないようにしてください。（器具落下の原因）

	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。
	禁止 - 金属部分をクレンザーやたわしでみがかない。（傷、腐食の原因） - ガソリン、ベンジン、シンナー等の薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしない。（破損、落下、感電の原因）
	必ず実施 - お手入れの際は、必ず電源を切ってください。（感電の原因） - 器具のお手入れは、乾いた柔らかい布か、ぬるま湯または中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。（メッキ部分は乾いた布でふいてください。） - 照明器具には耐用年限があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは耐用年限が短くなります。1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。（「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。）点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

お願い

- ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
- 点灯直後・消灯直後に「ピシ、ピシ」「ブツ、ブツ」等のプラスチックの伸縮によるさしきみ音が発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。
- LED素子にバラツキがあるため、同じ品番の器具でも光色、明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 虫の飛来が多い場所で使用される場合、カバー内に虫が侵入する恐れがあります。

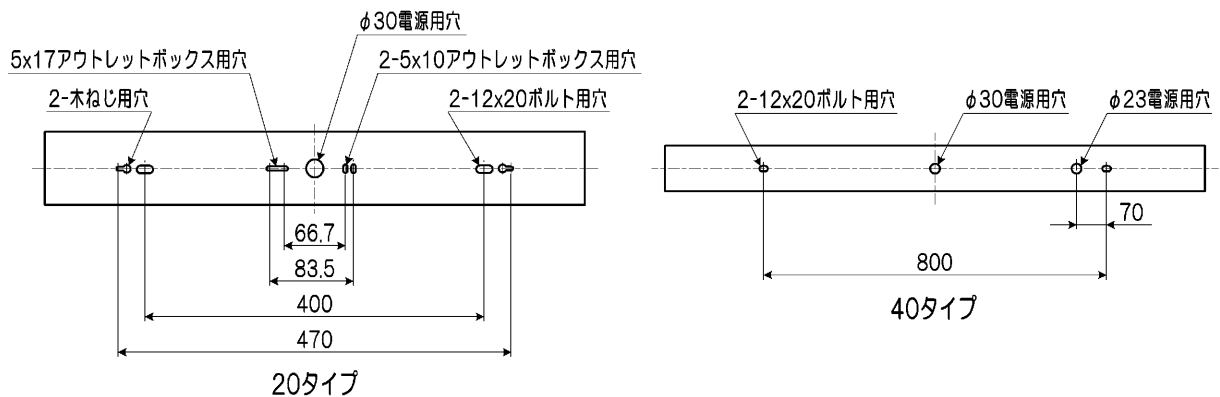
■各部のなまえ



■器具の取り付けかた

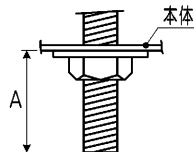
1 器具の取り付け寸法

（単位mm）



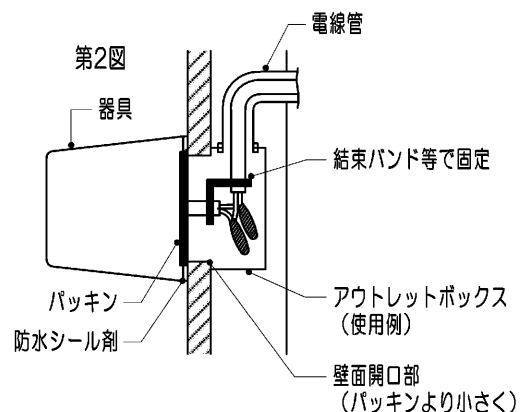
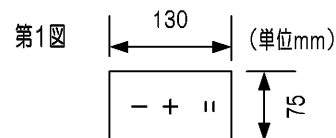
2 取付ボルトの器具内寸法

A寸法は、20mmを超えないようにしてください。



3 本体の取り付けかた

- ① 器具を取り付ける際は、器具取付部のパッキンが取付面と器具に、必ず密着するようにしてください。
- ② 高湿度内で長時間ご使用の場合は点灯・消灯による呼吸作用により湿気が器具背面へ侵入する可能性があります。湿気を回避するため以下のような工事を行ってください。
 - ・取付面は、パテ等で凸凹をなくすか、防水シーリング剤等で器具と取付面とのスキマを埋めるようにしてください。
 - ・器具の取付面は、パッキンよりも大きくしてください。（第1図）
 - ・パッキン外周部及び電源穴を内側よりコーキングしてください。
 - ・器具の電源穴は電源線・アース線を結線した後にコーキングしてください。
 - ・電源線は接続部に張力がかからないように結束バンド等で固定してください。
- ③ アウトレットボックス取付は20タイプのみ可能です。（第2図）



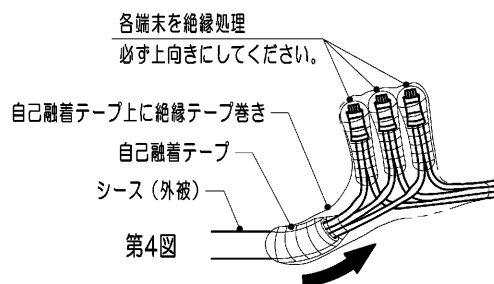
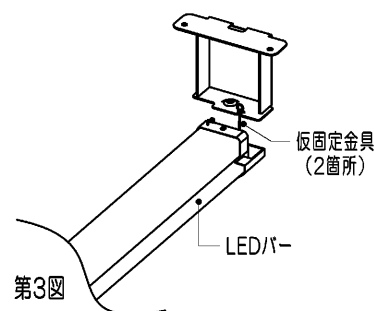
■ 器具の取り付けかた

- ④ 電源線・アース線を座金やナットに挟みこまないように本体の電源用穴から引き込んでください。
不備がありますと器具落下・感電・火災の原因となります。
- ⑤ 本体を取付ボルトまたは木ねじで確実に取り付けてください。
(40タイプは取付ボルトのみ使用可能です。)
(取付けボルトはW3/8またはM10を使用し座金を必ず入れてください。)
(丸木ねじの呼び4.1を使用してください。)
不備がありますと、器具落下の原因となります。
(注) 本体施工時に片側の取付ボルトや木ねじで取り付けた状態で放置しないでください。
本体変形の原因となります。

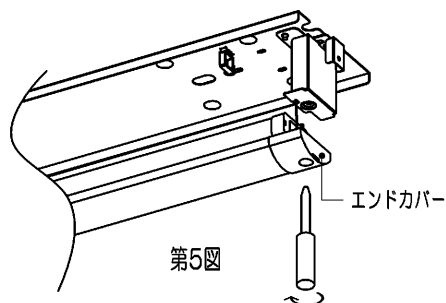
■ LEDバーの取り付けかた・はずしかた

1 LEDバーの取り付けかた

- ① 本体とLEDバーの位置を合せ、LEDバー両端にある仮固定金具(2箇所)を本体の切り欠きにスライドして引っ掛け、LEDバーを本体に吊り下げてください。(第3図)
※口出し線を持ってLEDバーを取り付けしないでください。
不備がありますと、器具落下の原因となります。
LEDバーをひねらないでください。
- ② 電源線・アース線・口出し線を接続してください。接続部は自己融着テープ・絶縁テープを使用して、絶縁処理・防水処理を確実に行ってください。(第4図)
口出し線は、長めに設定しております。
余った線を挟み込まないように、必要に応じカットして接続してください。
接続の絶縁処理・防水処理に不備がありますと不点灯、感電、火災の原因となります。
電源電線・アース線は、耐熱電線をご使用ください。
- ③ D種(第三種)接地工事を行ってください。
口出し線の接続は電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条に従って接続してください。
口出し線の線種はビニルコード、断面積は0.75 mm²となります。
口出し線の長さはLEDバー端部より下記の通りです。
(40タイプ) 約730 mm
(20タイプ) 約400 mm



- ④ 電源線の接続後、余計な電源線は電源穴から押し戻す、またはLEDバー付属のコードキープを使用して、口出し線がLEDバー背面に収まるように貼り付けてください。
たるみがあるとLEDバーが取り付けられない場合、点灯時に影が発生する場合があります。
不備がありますと、器具落下の原因となります。
- ⑤ エンドカバーの取付穴よりプラスドライバー等の工具で取付ねじを確実に本体へ取り付けてください。(推奨トルク: 1.0N・m) (第5図)
※口出し線側から取り付けてください。
不備がありますと、器具落下の原因となります。
- ⑥ エンドカバーの取付穴を隠すため、パッキンを取り付けてください。
不備がありますと、パッキン落下の原因となります。



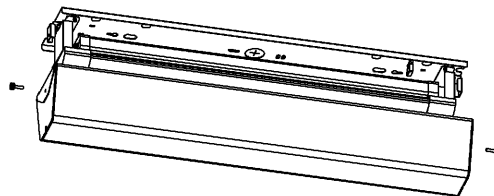
2 LEDバーのはずしかた

- ① 電源を必ず切ってください。
- ② パッキンを取付穴からはずしてください。
- ③ 取付穴にプラスドライバーを入れて取付ねじをはずしてください。

■カバーの取り付けかた・はずしかた

1 カバーの取り付けかた

- ① 補強金具をカバー端部に当ててください。
 - ② 化粧ねじを手で回しカバーを本体に確実に取り付けてください。
- 不備がありますと、カバー落下の原因となります。



2 カバーのはずしかた

- ① 電源を必ず切ってください。
- ② 化粧ねじを手またはマイナスドライバー等工具で回しカバーをはずしてください。

■基本特性（定格性能周囲温度（25℃時））

基本特性は搭載するLEDバーにより異なります。
形名タイプと明るさタイプをご確認の上、下記表をご参照ください。

20タイプ

電源電圧	1,600lmタイプ		800lmタイプ	
	入力電流 (A)	定格消費電力 (W)	入力電流 (A)	定格消費電力 (W)
100V	0.121	11.9	0.060	5.9
200V	0.063	11.9	0.032	5.9
242V	0.054	11.9	0.029	6.3

40タイプ

電源電圧	4,000lmタイプ		3,200lmタイプ	
	入力電流 (A)	定格消費電力 (W)	入力電流 (A)	定格消費電力 (W)
100V	0.253	25.2	0.198	19.7
200V	0.129	24.8	0.103	19.5
242V	0.110	24.8	0.088	19.5

■漏洩電流

測定はJIS C 8105-1保護導体電流に準拠します。

表、LEDバーの漏洩電流 (mA)

電源電圧	20タイプ	40タイプ
100V	0.060	0.145
200V	0.100	0.290
242V	0.140	0.350

保証とアフターサービス

弊社ホームページに掲載のメーカー保証規程をご確認ください。
修理を依頼されるときは『修理サービス規程』をご確認ください。

メーカー保証規程：https://www.tlt.co.jp/tlt/support/warranty/warranty_policy.htm
修理サービス規程：https://www.tlt.co.jp/tlt/support/repair_service/repair_policy.htm

ご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工書店）または弊社
ご相談センターにお問い合わせください。
その際は商品の形名、お買い上げ時期、故障の状況などをお知らせください。



メーカー保証規程



修理サービス規程

保証について

- ・メーカー保証期間は、商品お買い上げ日より（引き渡し日）3年間です。但し、リモコンなどの付属品は、製品の保証期間にかかわらず、1年間です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、照明器具の補修用性能部品の製造打ち切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
※材料の終息等により、保有期間前に修理できない場合があります。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048

（通話料：無料）

携帯電話 046-862-2772 （通話料：有料）

FAX 0570-000-661 （通信料：有料）

ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供することがあります。

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

C001V2100004AB